NIE実践報告

1．タイトル：新聞記事から視野を広げる総合学習

2．学校名

愛知県碧南市立大浜小学校

3．実践者名（代表者名）

小串久美子

4．学年

5年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合（福祉）・109名

6．単元（本時の学習課題）名

様々な障害を理解し、福祉を考えよう

7．目標(狙い)

様々な障害のある人に触れ、生き方を学ぼう
新聞記事から障害に対する考え方を知ろう

8．評価の視点

様々な障害のある人の生き方や考え方に触れ、「共に生きる」気持ちがもてたか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

福祉実践教室　5時間、課題追求　5時間、意見交換　2時間、福祉講演会　３時間、まとめ　4時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

１福祉実践教室	車いす、点字、手話、高齢者疑似体験を通じ、障害を理解する 障害を持つ講師の講話を聞き、障害者の気持ちを知る
２課題追求	福祉実践教室の学びを元に、障害に対する様々な考え方を新聞記事から探す 記事を総合ノートにはり、感想を書く
３意見交換	調べた記事から学びを深める 感想交流する
４福祉講演会	新聞に紹介された「車椅子ダンサー」の講話を聞く 感想・お礼の手紙
５まとめ	単元のまとめとして、福祉新聞をつくる

11．児童・生徒の反応、感想・意見

助けてあげる、何かしてあげるという考えから、「共に生きる」という考えに変化した
強く、明るく生きる障害を持つ人に生きる勇気をもらった

12．成果と課題

直接会って話せる人の数は限られているが、新聞記事を読むことで、幅広くいろいろな人の意見に触れ、身近に感じると共に、視野を広げたり、考えを深めたり出来る。